

編集／議会広報特別委員会 発行／名張市議会 名張市鴻之台1・1  
☎ 63 - 7834 ☎ 64 - 8870 ✉ gikai@city.nabari.lg.jp



市議会ホームページ



市議会 Facebook



市議会 YouTube

## 令和7年度 新体制始動



第75代 名張市議会議長

富田 真由美



第78代 名張市議会副議長

小林 勝

### 【議長よりごあいさつ】

令和7年4月の役員改選により名張市議会議長に就任いたしました富田 真由美です。今年度は三重県市議会議長会会長という要職も務めさせていただいております。

市民の皆さんには、日頃より名張市議会の活動に対しまして、ご理解ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。このたび市より発表があった中学校給食事業の延期は、私たち議会にとっても大変残念でなりません。長引く物価高騰など、社会情勢の変化も伴い多くの市民の皆さんから、「名張の財政は大丈夫なのか」とのお声を頂いているところです。

議会としましても、行財政改革調査特別委員会を設置し、皆さんの声を聴きながら、長期的な視点でより良い未来を築くため、より一層努めてまいりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 常任委員会のご紹介

### 総務企画委員会



(後列左から) 小林 勝、細矢 一宏  
藤川 美広、木平 秀喜  
(前列左から) 委員長 阪本 忠幸  
副委員長 足立 淑絵

#### 【所管事務調査】

- ・DXの推進について
- ・防災力の向上について

### 教育民生委員会



(後列左から) 三原 淳子、福田 博行  
柏 元三、富田 真由美  
(前列左から) 委員長 常俊 朋子  
副委員長 幸松 孝太郎

#### 【所管事務調査】

- ・不登校対策について
- ・福祉人材の育成について

### 産業建設委員会

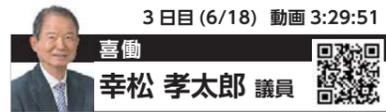


(後列左から) 川合 滋、吉住 美智子  
山下 登  
(前列左から) 委員長 坂本 直司  
副委員長 永岡 禎

#### 【所管事務調査】

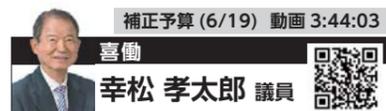
- ・農業振興について
- ・都市構造の再編とかわまちづくりについて

※所管事務調査…議案の審査や政策提言などを目的に、所管する事務について自主的に行う調査



**Q 公民連携でゴミ処理を**  
ゴミ処理広域化検討委員会が7月に開催される。新施設の整備費用は概算で250～300億円かかる予想だ。効率よく安価にするには公民連携のPPP方式が有効と考えるが、どのような方針で臨むのか。

**A 様々な観点で十分に審議**  
現施設は令和16年3月に操業期限を迎えるため、それに間に合わせる着実なスケジュール立てが必要だ。ゴミ処理施設の広域化には多額の費用が発生するため財政への影響も大きい。将来長きにわたって方向性を決めていく大事な事業であるため様々な観点で十分に審議して検討委員会に臨む。



**Q AI 管路劣化度診断事業**  
AIを活用した水道管路の劣化度診断事業500万円は、どのような事業か。

**A 漏水の予防などに活用**  
国の交付金を活用して、AI解析による水道管の劣化度診断を行う事業である。市内の水道管約587kmを対象に、管の情報や漏水履歴などと事業者の持つ多くのデータとを合わせてAIで解析し、その診断結果や国が示す方針をもとに、将来更新する管の優先順位を決めていく。またエリアを絞った漏水調査を行い、年間100件ほど発生している漏水の予防や大規模な断水事故の防止に活用する。



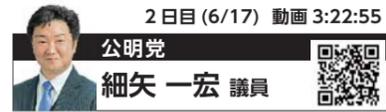
**Q 中学校給食の実施時期は**  
中学校給食の事業着手を当面延期すると発表された。給食は「教育」であるため、財政難を理由に後回しにしてはならない。延期を決定した理由とこれまでの検討内容の詳細を議会と市民に公開し、約束通り令和9年度中の実施に向けて再度検討するべきだ。

**A 早期実現に最大限努力する**  
中学校給食を延期しても赤字収支となる見通しであり、現時点で実施するには財政的な展望があまりにも見えないと判断した。必ずやり遂げたい事業であるため、今後も財源確保に力を尽くし、早期実現に向け最大限努力する。



**Q 地域福祉（活動）計画**  
第5次名張市地域福祉（活動）計画が、パブリックコメントを経て、本市と市社会福祉協議会の連名で策定された。計画の改定にあたって市長の思いを問う。

**A 市民が関わる場作りが必要**  
人口減少社会において、担い手不足が喫緊の大きな課題である。課題解決には、もっと多くの市民が福祉の様々な課題や場面に関わることであり、場作りが必要である。この計画を実効性のあるものにしていくためにも、人とのつながりを大切にする本市のシティプロモーションとの両輪で進めていきたい。



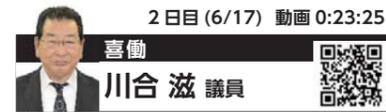
**Q 事前復興計画について**  
本市の財政は非常に厳しい状況であるが、災害に強い安全・安心なまちづくりは市の責務と考える。国が進めている「事前復興まちづくり計画」についての進捗状況を問う。

**A 計画の整備に努める**  
地域特性や脆弱性に即した備えは必要と考えており、職員を対象とした事前復興まちづくり研修会を実施した。現在、災害の備えに対する国の補助は潤沢とは言えず、計画に対する国の支援も示されていないが、県や他自治体の動向を注視しながら有利な財源の確保に努め、計画を整備していく。



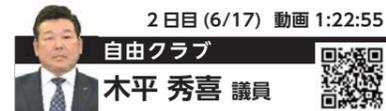
**Q 中期財政計画はでたらめ**  
名張市の中期財政計画はでたらめだ。30億円の特定目的基金があるから、令和9年に早期健全化団体になれない。何のために起こりえないことを公表して、市民を不安にし、市の信頼を失墜させているのか。

**A 国や県の確認を得ている**  
財政再生団体にならない、なるはずがないと言ってしまうと、市民が「このままで良いのか」と思うのは当たり前である。そうではなく、市や国、県そして市民もそうならないようにするからならないのである。中期財政計画の数字は、総務省や県からおかしいと指摘を受けたことはない。



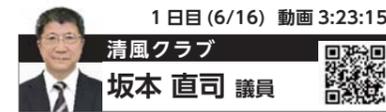
**Q 平和への想いをつなぐには**  
今年には戦後80年の節目を迎える。戦争を経験した人や遺族が少なくなる中、戦争体験や平和への想いを後世へどのように伝えていくのか。

**A 次世代への平和教育の推進**  
本市は昭和33年に平和都市宣言を、61年には非核平和都市宣言を行った。令和5年度から7年度まで平和学習の一環として中学生を対象にピースメッセンジャープロジェクトに取り組み、小学生へは紙芝居で平和の尊さを伝えた。様々な取組を通じて戦争がなぜ起こるのか、なぜ止められないのかを子どもたちに考えてもらいたい。



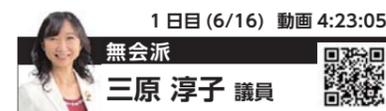
**Q 感震ブレーカーの設置支援**  
令和6年能登半島地震において、地震後の火災の原因は停電が復旧した後に発生する通電火災とされている。本市の旧市街地のような木造住宅が密集する木密地域では、火災発生時に延焼リスクが高いと考えられる。今後予想される大規模地震に対して、感震ブレーカーの設置を支援する考えはあるか。

**A まずは普及推進計画を策定**  
感震ブレーカーの普及推進については、国からも指示があり、まずは計画を策定していく。通電火災の恐ろしさや感震ブレーカーの有効性を体感できるような取組を考える。



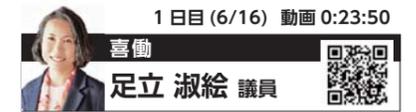
**Q 分散型美術館の設置を**  
本市に常設の美術館があれば若い世代が芸術文化に接することができるが、美術館の新設を望むのは市の財政状況から現実的ではない。そこで市の施設に加え、企業や団体など民間の施設、個人の施設を借用し、分散型美術館を設置してはどうか。

**A 検討・研究したい**  
分散型美術館については、市内各所の文化観光拠点、また公共施設などを結びながら町全体を美術館のように見立てて作品展示を行う手法であり、都市と自然が共存する本市においても一定の可能性を有する。本提案を検討・研究したい。



**Q 看護師が安心できる環境を**  
市立病院の独立行政法人化は経営を強化することが目的だが、法人化後、市から12億7千万円の追加負担が必要になる見込みだ。全国的に病院は経営難で、独法化で経営改善ができるとは考えにくい。経営難の根本にある看護師の離職を止めるためにも、独法化は凍結し、安心して働ける環境にすることを優先すべきだ。

**A 独法化で働きやすい環境に**  
現場の声をもとに稼働ベッド数を減らして、看護師の休暇取得を促進した。独法化でフレキシブルな働き方などを取り入れ、看護師数を回復させ、収支の改善を目指す。



**Q 伊賀区域に慢性期病床を**  
伊賀区域の医療状況は、高齢化に備えた慢性期機能を持つ病床が将来的な目標値に191床足りていない。看護師不足で市立病院の経営が悪化する中、看護師の配置基準20対1で対応できる慢性期に機能転換することで経営も改善すると考える。

**A 県や関係機関と協議重ねる**  
伊賀区域の医師数は、県内で最も少なく限られた医療資源を効果的に活用できる医療体制の構築が必要だ。今後、人口減少と高齢化が一層進む中で医療・介護の担い手不足も課題となる。県や関係機関と合意形成が必要で協議を重ねていく。



**Q 不動産登記法の解釈**  
不動産登記法には、地目または地積の変更があった場合、1カ月以内に変更登記申請をしなければならないとあるが、市立病院の土地の一部について、変更登記がされていない。本市の法解釈を問う。

**A 規定に反するものではない**  
同法附則の規定では地方自治体などの所有不動産が未登記であることが許容されているため、変更登記をしなくても法の規定に違反するものではない。土地開発公社が先行取得した当該土地は市との売買契約書で確認ができることから、表示を公簿面積と実測面積に改めるよう準備を進めている。

※ 1 / PPP方式…公共施設の建設、維持管理、運営などを行政と民間が連携して行うことにより、財政資金の効率的使用や行政の効率化を図るもの

# 一般質問で取り上げたテーマをグラフでお知らせ！

10・11 ページでは各議員が行った一般質問の中から、議員ごとにひとつだけ質問項目をピックアップして紹介しています。

ここでは、一般質問全体でどのようなテーマに注目が集まったのか、グラフを使ってお伝えします。

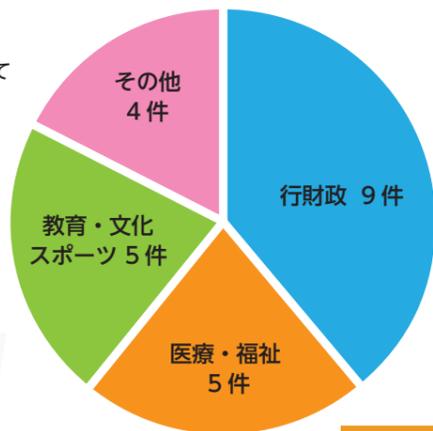


### 【その他】

- ・出産・育児支援の現状について
- ・ごみ処理広域化について
- ・企業誘致について
- ・防災対策について

### 【教育・文化・スポーツ】

中学校給食事業の延期が発表され、各議員からは延期の理由や検討内容について質問がありました。



### 【行財政】

財政状況の改善に向け、「名張市行財政改革プラン」が策定されました。今回の一般質問では財政問題に加え、4月に市が設置した「公民連携窓口」など、民間活力の導入についても注目が集まりました。



### 【医療・福祉】

市立病院の地方独立行政法人化が10月に迫り、経営の強化や職場環境の改善を求める質問がありました。



◀ 一般質問の一覧はこちら

## 行財政改革調査特別委員会のご紹介

### 【委員長よりごあいさつ】

行財政改革調査特別委員長の永岡 禎です。

昨年11月に市長が発した「なばり新時代の大改革宣言」を受け、議会においても本年4月に特別委員会を設置しました。

今回、市が発した行財政改革プランの理念は「変化を受け入れ、未来を共創する」で、コスト削減や効率化にとどまらず、創造的な発想で新たな価値を生み出し、市民の満足度を高める取組です。

今後、委員会として、この理念のもと、人口減少社会においても持続可能な行財政運営基盤が構築できる名張市となるよう、様々な観点から議員間で協議を進め、名張市の未来に向けた新たな提案ができるよう進めていきます。



(後列左から) 坂本 直司、足立 淑絵、木平 秀喜  
(前列左から) 委員長 永岡 禎  
副委員長 細矢 一宏

### 9月定例議会日程 (予定)

9月4日 議案上程	17日 決算質疑
10日 一般質問	18日 決算特別委員会
11日 一般質問	19日 決算特別委員会
12日 一般質問	22日 総務企画委員会
16日 補正予算質疑	24日 教育民生委員会
	25日 産業建設委員会
	30日 採決

開議時間は午前10時からです。全ての本会議(委員会を除く)がケーブルテレビで中継されます。なお、YouTubeでは上記の会議全てを配信する予定であり、過去の会議も視聴することができます。

### 【次回の議場コンサート】

#### ちめいど

日時 9月10日 9:10~9:40  
場所 市議会3階議場傍聴席



申込不要

## 6月定例議会 議決結果

議案の一部を掲載

### 市立病院の地方独立行政法人化関係

10月に予定している市立病院の地方独立行政法人化に関して、「地方独立行政法人名張市立病院の設立に伴う関係条例の整備に関する条例の制定」「地方独立行政法人名張市立病院に係る重要な財産を定める条例の制定」「地方独立行政法人名張市立病院の役員等の損害賠償責任の一部免除に関する条例の制定」「地方独立行政法人名張市立病院への職員の引継ぎに関する条例の制定」の4議案が提出されました。

審査を付託された教育民生委員会においては、次のような質疑がありました。

- Q. 法人化した市立病院は住民監査請求の対象となるか。  
A. 監査請求や住民訴訟の対象にはならない。
- Q. 市役所職員が法人化した市立病院に派遣された場合の給与負担はどうか。  
A. 業務内容によるが、基本的には法人が負担する。
- Q. 法人移行後の職員の待遇はどうか。  
A. 移行時においては移行前の待遇が引き継がれる。

委員会の後、本会議において採決し、4議案の議決結果は下のとおりとなりました。

### 議決結果

	無党派			喜働		自由クラブ			清風クラブ			公明党				
	藤川	三原	永岡	足立	幸松	川合	木平	山下	柏	小林	坂本	常俊	福田	阪本	細矢	吉住
○ 賛成	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
×																
△ 反対																
欠 欠席																

※富田議長は採決に加わりません。

### 令和7年度 一般会計補正予算

一般会計で1億4,114万5千円の増額補正(財源として国県支出金1億1,418万7千円を計上)を行い、補正後の予算額は309億3,414万5千円となりました。

公共交通対策事業2,788万6千円(地域コミュニティ交通人材育成事業及び公共ライドシェア実証運行等に係る委託費)や先導的官民連携支援事業1,205万1千円(かわまちづくりと一体となったまちなか再生のための官民連携手法調査費)、小学校給食費2,288万円(物価高騰の影響を受けている保護者の負担軽減を図るために実施している小学校給食費無償化事業の1カ月延長に係る経費)などが主な内容となっています。

多くの議員が質疑を行った公共交通対策事業の内容は、公共ライドシェア導入の運行支援などによる薦原コミュニティバス「コモコモ号」の再編、地域コミュニティバス運行協議会などを対象としたセミナーや勉強会の開催によるコミュニティ交通人材の育成となっています。

その中でも、公共ライドシェアについては次のような質疑がありました。

- Q. 今回の薦原地域での実証運行はどのような形で実施するか。  
A. 薦原地域(さつき台を除く)の人を対象に、コモコモ号の運行エリア内において、ドア・ツー・ドアで利用者を自宅付近から目的地まで届ける。
- Q. タクシー事業者への民業圧迫とはならないか。  
A. タクシー事業者への聴き取りを行った。現在、朝の時間帯ではタクシーが不足しているとのことでもあり、地域住民の移動手段を地域の中で解決することについて一定の理解をいただいた。
- Q. 他地域への横展開について検討しているか。  
A. 実証運行の結果をもとに、他の地域にこの事業がマッチするか検討していく。

なお、補正予算に関する議案は全会一致で可決されました。

その他の議決結果はホームページに掲載しています。また、議決結果は名張市公式LINEでもお知らせします。ぜひ友だち登録し、受信設定から「議会」の情報を受信するよう設定してください。議決結果のほか、会議予定や一般質問の通告一覧などを発信する予定です。



議決結果 (HP)



市公式 LINE



採決日 動画 (YouTube)